



《あいちトリエンナーレ 2010 のためのプラン》2009
 “Project Plan for Aichi Triennale 2010”, 2009

松井紫朗

Shiro Matsui

(1960 年奈良県生まれ、京都在住)

ものの「内と外」という考え方にに基づき、建物や屋外において、空気を送りこんで膨らまし続けるバルーンを主とした素材として、国内外でダイナミックなインスタレーション展示をするアーティスト。



“Hero No. 2”, 2009
 Cowskin, Steel, Wood and Polystyrene Foam
 460 x 1070 x 520 cm

ジャン・ホアン(張洄)

Zhang Huan

(1965 年安陽生まれ、上海とニューヨーク在住)

彼のキャリアは 1993 年の北京郊外にある東村という芸術村でのパフォーマンスに始まる。今は、巨大なぬいぐるみのようなオブジェの圧倒的なインスタレーションを展開している。



“Let Us Build and Launch a Blue Rocket to His Heaven”, La Sucriere, Lyon, 2009.

ツァン・キンファ(曾建華)

Tsang Kin Wah

(1976 年中国山東省生まれ、香港在住)

文字で構成された唐草、花など植物の図案がダイナミックに空間に広がる。作品形態は壁紙、あるいは動画としてプロジェクションしたもので、毒のある言葉と優美な模様という異質なものを融合させている。リヨンビエンナーレ(2009 年)等に出品、香港、ヨーロッパ各地で活躍。



"Saturday", 2008

Inkjet print

Framed: 20 x 26 1/2 x 1 1/2 inches

50.8 x 67.3 x 3.8 cm

Print: 25.2 x 19.29 inches

64 x 49 cm

ABDAD0176

アデル・アブデスメッド

Adel Abdessemed

(1971 年コンスタンティーンヌ[アルジェリア]生まれ、パリ在住)

1994 年フランスに移り住んだ彼は、現在起こっている社会のさまざまな問題を掘り下げ、ビデオ、写真、パフォーマンスなど、さまざまな形でしばしばスキャンダラスな形で作り出す。



Tatiana TROUVÉ

Untitled, from the series "Intranquility", 2006

Crayon sur papier, plastique, cuivre

32 1/2 x 47 inches / 82,5 x 119,5 cm

Collection Musée National d'Art Moderne/Centre Pompidou

Photo: André Morin

© Tatiana Trouvé

Courtesy Galerie Emmanuel Perrotin, Paris & Miami

タチアナ・トゥルーヴェ

Tatiana Trouve

(1968 年コセンツァ[イタリア]生まれ、パリ在住)

床、天井、そして壁に金属素材の線や形を配置することで、垂直と水平が不安定な、不穏に見える空間を作り出すインスタレーション作家。2007 年のマルセル・デュシャン賞を受賞。



"SABULATION", Audiovisual installation. 40 min. Jacob Kirkegaard © 2010.

ヤコブ・キルケゴール

Jacob Kirkegaard

(1975年コペンハーゲン生まれ、ベルリン在住)

キルケゴールは耳にはなかなか聞こえないような音を特殊なテクニックで録音して扱うアーティスト。ある特別な場所で録音された音を直接、あるいは機械的にわずかに変換させて、その視覚的な情報とともに、ダイナミックな空間インスタレーションを構築する。



"Volatile Topography", 2006

4,500 m²

Balloons, Wire and Helium Gas

Busan Biennale - South Korea

ヘクトール・サモラ

Hector Zamora

(1974年メキシコシティ生まれ、サン・パウロ在住)

運河や公園のような街中、あるいは美術館のような建物において、日常的なさまざまな素材で、建築の特性を活用したインスタレーションを行う作家。